

科目名	保育内容総論 A					単位	2.0
担当教員	平野 仁美						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1516

●授業のテーマ

保育内容の基本を学び、保育の役割や今日の保育課題について理解する

●到達目標

①子どもの発達をふまえた保育の内容を理解して保育の計画を構想し、評価の方法や保育者の役割について理解する。②保育の意義についての明確な認識の上に子ども観、発達観、保育観を形成していく。③保育ニーズに応え、保育の今日的課題に対する方法を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

関連教科(保育原理・保育原理Ⅰ)の前期の学びの上に立って、子どもの発達をふまえた保育内容をさまざまな角度から学ぶ。

あわせて、園や家庭での教育及び地域における子育て支援などについても理解する。さらに、少子化の進行、子どもの生活や遊びの変容、子育ての不安感、負担感と養育力の低下等による保育のニーズの高まりや今日的課題を考え、保育者の専門性と子どもの最善の利益をふまえた保育のあり方についても考える。

また、わが国や諸外国の保育動向や保育の内容理解を深める。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション(授業の進め方・保育への認識について等)
2. 子育てを巡る課題
3. 幼稚園・保育所・認定こども園の一日
4. 保育内容の構造
5. 乳幼児期の子どもの姿No.1
6. 乳幼児期の子どもの姿No.2
7. 保育計画と指導計画
8. 子どもの発達を考える
9. 遊び・生活と保育内容
10. 指導計画について(ねらい・内容)
11. 指導計画について(環境構成・子どもの活動・保育者の援助)
12. 保育内容の変遷(戦前)
13. 保育内容の変遷(戦後)
14. 保育者に求められる姿
15. まとめ(学んだ内容をディスカッションし発表する)

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：授業内容に関する教科書や配布資料等を読んでおくこと。

事後学習：今回の授業でわかったこと、気付いたこと、疑問に思ったことを指定用紙にまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

- ・筆記試験（50%）
- ・学びまとめノート（20%）
- ・学びの振り返り（15%）
- ・授業態度（15%）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：新時代の保育双書「新・新保育内容総論」第2版、著者名：太田悦生編、出版社：（株）みらい、販売先：（株）Do、備考：その他授業時指示する。

●参考文献／その他

- ・亀谷和史・宍戸健夫・丹羽孝『現代保育論』かもがわ出版、2006
- ・神田英雄・村山祐一編著『保育とは何か』新日本出版社、2009
- ・「現代と保育」編集部編『子どもをわかるということ』ひとなる書房
1998
- ・佐々木正美『子どもへのまなざし』福音館書店、1998

●履修上の注意

授業での意欲的な取り組みを期待します。グループ活動を通して、コミュニケーション力を養います。自分の意見を持って参加しましょう。

受講生は、A4版ノートを準備して、学びを整理しましょう。